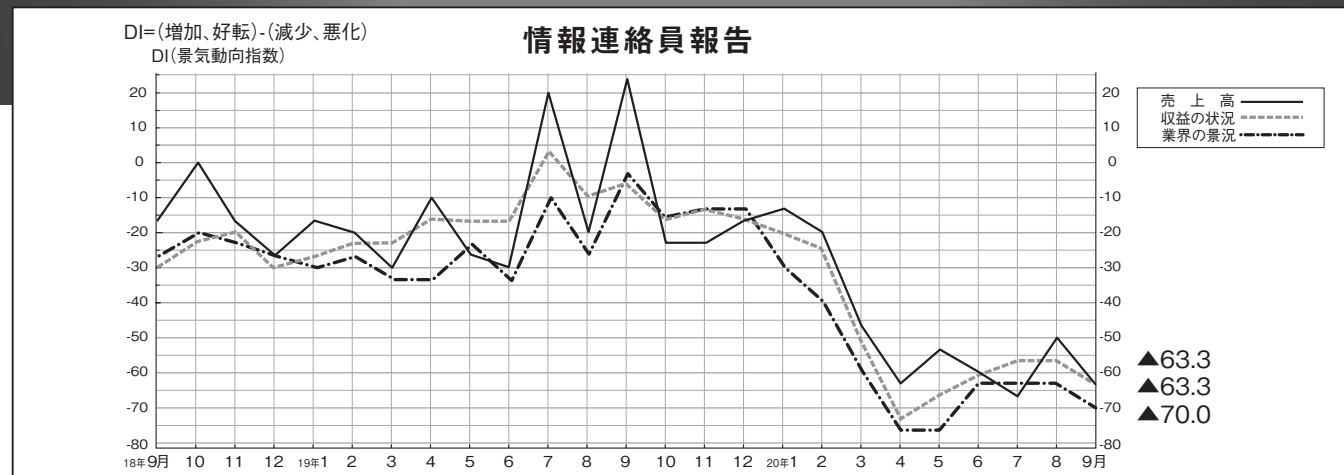


情報連絡員報告を中心とした 県内各業界の動向

2020年9月（前年同月比）



業界の状況 | ☀️ …好転 ☁️ …やや好転 ☁️ …不変 ☁️ …やや悪化 ☔️ …悪化

食品団地 9月度市況は、観光関連の取引が新型コロナの影響で悪化しており、景況感は足踏み状況。9月の連休で人の動きがみられ、食品業界でも積極的な生産の動きが現れている。	生コンクリート製造 需要になお地域的偏在がある。高知市を中心とする地区の市況低迷は、いまだに改善されていない。
酒類製造 6月、7月出荷分の流通在庫が9月出荷を鈍らせている。コロナ禍から抜け出せない状況である。	コンクリート製品 出荷数量は、前年同月比71%。前年5月分の出荷から西日本豪雨による災害復旧工事の発注により増加が続いていたが、7・8月分は前年度より低下した。
テントシート 新型コロナ感染防止対策による、各種イベントの中止、延期等により全体的に売上減少となっている。特にイベント関連主力の事業所は大変な状況（前年同月比50%超売上高ダウン）。	機械団地 新型コロナにより、機械部品加工の受注が落ち込み、業績が低迷している事業所がある。その他では業種によりバラツキはあるものの、概ね横ばいの業況で推移している。
木製品素材生産 材価の下落、受け入れ量の縮小等により少なからず影響がある。	刃物製造 売上は昨年と変わりなし。小売業の取引先の売り上げは確かに落ちているが、海外向きの品は好調でそれを補っている。
製材 需要の停滞、新型コロナの問題等全般に低調であった。業界の状況は少し動き出した模様であるが、まだまだ全般に活発な状況になっていない。	船舶製造 海外取引は停滞しているものの、生産状況は、引き続き高い水準で推移している。
製紙（家庭紙） 家庭内在庫増、購買意欲低下、大手の増産等悪い条件が重なり、厳しい状況が続く県内家庭紙業界である。年末に向けても回復の兆しが見えない。	珊瑚装飾品製造 9月の製品会取引額は前年同月比60%と、依然復調の兆しが見えない状況である。
印刷 官公需、県内民需も相変わらず低迷だが、プレミアム商品券、Go Toイート等の特需で下げ止まり感も見られる。県外需要は相変わらず良くない。全般に先月よりは若干改善傾向だが、前年対比は芳しくない。	卸団地 1.シルバーウィークは少し活気が戻ってきたが、中心街の居酒屋などの売り上げはあまり伸びていない。外食産業は引き続き低調であった。2.全体的に景気の悪化が続いていると思われる。

青果卸売 県外出荷は好調。県内消費は量販店は好調だが、業務関係はまだ不況続きである。	商店街（四万十市） 敬老の日、秋分の日(連休)には県外客が多く商店街を利用してくれた。運動会シーズンも会そのものは短縮して実施、打ち上げ会等はなく、飲食店利用につながっていない。
生鮮魚介卸売 マグロ、小物の入荷は少ないが、需要的には足りている。（安いものは少ない）。カツオ（鹿児島、宮崎地物）は順調に入荷している。	旅館・ホテル Go Toキャンペーンやリカバリーキャンペーンの実施とシルバーウィーク期間の宿泊があり、回復が見られたが、会議・宴会部門の減少が戻らず厳しい状況である。
各種小売（土佐市） 状況は変わらず厳しい。イベントなども行えず、活気がなく寂しい。	飲食店 業界の景況は夏以降やや回復傾向だったが当月は鈍化した。業種、店舗により差はあるが平均した売上高は前年度比6〜7割程度。
ガソリンスタンド 新型コロナの感染は高知では少なく、そのせいか連休には県外客がかなり来ており、販売数量も前年には追いつけないものの大差ないくらいの売り上げがあったようだ。	旅行業 組合クーポン前年同月対比112%、全旅クーポンを加味して87%であるが、今年度総売り上げは大きく下回っている。Go Toトラベル事業は旅行業者の事務手続きが増加、収入が激減のままで、非常に厳しい状況。
電気機械器具小売 全商品平均で前年比92%。昨年は消費税の駆け込み需要があり、今年はその反動があり、前年比マイナスとなった。	一般土木建築工事 令和2年9月分の公共用生コン出荷量は、前月比115.3%。9月の公共工事請負金額は前年同月比で117.0%。災害復旧工事、防災・減災対策工事、高速道路の延伸工事などの大型工事は継続している。
中古自動車小売 依然市場相場の高騰で、仕入れに苦戦しているが、先月後半から販売件数は増加傾向にある。	電気工事 組合員の施工する電力引き込み線の工事は、前年同月比72.2%となった。香長地区の減少が影響している。
商店街（安芸市） 安芸市発行のプレミアム付き商品券が10月1日から使用開始するにあたり、商店街の個店へ取扱店の登録を呼びかけた。	一般貨物自動車運送 新型コロナの影響はまだ続き、連休もあつてか荷動きは低調なままだった。燃料価格が一旦落ち着いたのは好材料であり園芸物等の荷動きが良くなることを期待するところ。
商店街（高知市） 中央公園地下駐車場利用状況 売上：前年比45.1% 台数：96.2%。シルバーウィークの4日間は県外観光客を含め、終日多くの人で賑わった。その後、心配された感染者の発生もなく一安心といったところ。	タクシー 実働1日1車当りの前年同月比営業収入：77.1%、輸送回数：77.5%。実働率は54.7%。感染者が出ていないので若干の人の出のせいか少しずつ回復しているように思えるが、実働率が悪いので収入は増えない。

忘れずおまかせの保険。

MS&AD 三井住友海上

三井住友海上の安心

GK

クルマの保険 住まいの保険 けがの保険

www.ms-ins.com